

# 広見短歌会

水郷の風にゆれるる半夏粧白い葉っぱに涼を求める

西添 春子

不自由な足を引きずり喜寿迎へ今宵仲秋の名月仰ぐ

武田 幸子

広大な宇宙の銀河のテレビ見て腰の痛みも忘れてゐたり

山本マツエ

食減りてやせゆく身体支えつつ猛暑の中を絶えてゆかねば

伊手リツエ

年老いて物忘れしても穏やかで誰にも愛され可愛く生きたし

蛭谷 寿子

夫の歳五年も越えし誕生日孫らの電話に涙のにじむ

高田 治子

鍬持ちて畠を打てばそこかしこ蛙出で来ておどろきにけり

芝 幸子

菩提寺にすさぶ心を鎮めむと気を取りなをし御詠歌に行く

二宮 安恵

秋雨のそば降る中を雨具着て孫に送らむ里芋を掘る

兵田トミ子

切子のコップ割りて悔みをり厨にて聞く油蟬の声

佐々木登美子

リラックスしすぎ脳波のたが緩む

吉井 興一

猛犬の腹見せているリラックス

宮川 柳酔

怖くない父にあぐらの母娘

森本 幸美

震災の風評にまず釘を打つ

財前 溪子

説明書読んでも無理なメカ音痴

合田 悦子

大廉売ヒト科の欲を垣間見る

武田 浅美

胃の中で喜怒哀楽がもつれ合い

渡辺 光男

気をつけたいまさかの坂は常にある

宮岡 沙代

ありがとうが素直に言えて霧が晴れ

都 瞳

今日も又起きて動ける身に感謝

宇都宮 忍

エンディングノート買って十年まだ白紙

宇都宮 孝

逃げ場などないが囲いはもっている

加藤 桂子

アングルを替ると見える妥協案

金子すすむ

大望の夢諦めたときに消え

栗木 一郎

## きほく川柳会

### Andrew's Story【No.10】 「Light Pollution」

だんだんと気温が下がって、冬が近づいてきましたね。「冬が来る前」と思い、最近、僕はまたランニングを始めました。まだ日の出前の寒くて暗い朝に走っていると、いつも「空が違うな」と感じています。

皆さんは「光害」という言葉を聞いたことがありますか。街灯などの明かりがたくさんあるところでは星空があまり見えませんが、それを「光害」と言います。鬼北町は街灯が少ないので、夜空には綺麗な景色が広がっています。

僕の出身のアリゾナ州を始め、人口が多いほとんどの都市には、この「光害」が身近に存在しています。小さい頃、天文学に興味があった僕は、

両親に望遠鏡を買ってもらいました。しかし、その望遠鏡を使っても星は見えにくく、綺麗に星が見られる「本当に暗い場所」はほとんどありませんでした。だからこそ、今鬼北の星空を見られることが本当に嬉しいのです。

皆さんは、「光害」を感じたことはありますか。東京や大阪に行ったら、星はあまり見えません。鬼北町とは全く違う雰囲気です。アメリカには便利なおとろががたくさんあります。しかし、その反面、自然な景色がだんだん少なくなってきました。

鬼北町だからこそ見られる景色を大切に、そしてその景色を、皆さんも楽しんでみませんか。



鬼北町外国語指導助手

通称：アンディ

アメリカ合衆国アリゾナ州出身  
※毎週水曜日、英会話教室を開講しています。